

平成26年度 第10回専攻科修了証書授与式及び第49回卒業証書授与式を挙 行しました。

投稿日時: 2015-04-09 12:28:57 : [平成26年度の話](#)

3月20日(金)に、いわき芸術文化交流館アリオスにおいて、平成26年度の修了式・卒業式を
挙りました。

この日、修了・卒業を迎えたのは、専攻科生30名、本科生211名です。中村校長が一人一人
に修了・卒業証書を授与し、「世界に活躍する人材」「イノベーション人材」「いわき・福島から」を
キーワードに掲げ、「本校で身に付けた創造性と実践性、人間力を生かし、健康に留意し、自ら
の夢を実現してください。」と言葉を贈りました。

いわき市長代理の上遠野洋一副市長による来賓祝辞に続き、学生代表の草野翔さん(機械工
学科)が挨拶を述べた後、吹奏楽部の祝奏が披露され、修了生・卒業生の門出を祝いました。



(校長告辞)



(卒業生代表挨拶)



(会場の様子)

[0コメント](#)

[佐藤特命教授が日本原子力学会賞技術賞を受賞しました](#)

投稿日時: 2015-04-07 12:49:29 : [平成26年度の話題](#)

本校、佐藤正知特命教授が、平成27年3月21日、茨城大学工学部で開催された日本原子力学会春の大会で、「福島第一原子力発電所で発生した高放射性ゼオライト吸着材の保管時健全性評価手法」と題して、日本原子力研究開発機構(JAEA)の5名とともに日本原子力学会賞技術賞を受賞しました。

2011年3月の事故直後から北海道大学工学研究院で、その後、引き続き本校で、JAEAと連携して粒子状ゼオライト充填物の熱伝導率の測定と吸着したセシウムの壊変による容器内貯蔵時温度上昇の評価を行い、今回の受賞につながりました。



[0コメント](#)

[第6回発明発見教室「DNAを取り出そう」を開催しました](#)

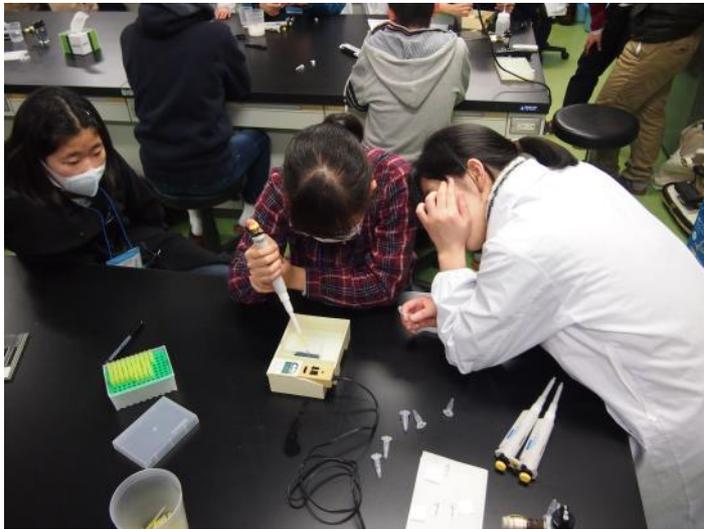
投稿日時: 2015-03-23 18:20:27 : [平成26年度の話題](#)

3月8日(日)に、第6回発明発見教室「DNAを取り出そう」を開催しました。この教室は、いわき市の小中学生を対象とした科学・工作教室であり、毎年開催するものです。(主催:福島高専、いわき市)

今回の教室では、タマネギやバクテリアからDNAを取り出し、その性質や遺伝子との関係を、実験を通して学ぶものです。タマネギの細胞が、DNAの情報で作られたタンパク質によって活発に活動しているところを観察したり、取り出したDNAがマイナスの電気を帯びていることを、プラスの電気を帯びた色素と結合させる実験で確かめたりしました。

また、バクテリアが光るのは、導入された小さなDNA分子が原因であることを電気泳動で調べました。

参加した中学生にとっては、高度な高専の授業を体験できる良い機会となりました。



[0コメント](#)

「女子学生キャリア支援講演会」を開催

投稿日時: 2015-02-02 14:05:01 : [平成26年度の話題](#)

本校では、去る1月21日（水）、男女共同参画・キャリア教育支援室主催による、「女子学生キャリア支援講演会」を開催した。講演は、同校コミュニケーション情報学科OGの榎田さやか氏を講師に招き「働きつつ、育てつつ 育てつつ、育ちつつ」をテーマに、1年生から5年生までの女子学生約110名が出席した。

講師からは、ユーモアを交えながら社会人としての心構え、働きながら子育てを行う女性のキャリアアップに対する考え方を中心に講演があった。学生は、自身の将来について真剣に考える良い機会となり、講演に熱心に聞き入っていた。

なお、本講演会は、毎年講師や内容を変えて開催しており、今後も引き続き開催する予定としている。



[専攻科1年が「第25回新機能化学工学研究会」において「研究発表選奨」を受賞しました。](#)

投稿日時: 2015-01-27 15:27:20 : [平成26年度の話題](#)

平成27年1月24日（土）に東京理科大学（東京都新宿区）で開催された「第25回新機能化学工学研究会」において、専攻科 物質・環境システム工学専攻1年生の遠藤佑哉さん、山川貴礼さんが「研究発表選奨」を受賞しました。

遠藤さんの口頭研究発表（顕著な撥水性を呈する有機シリカの固化条件の探索とその撥水性の評価法の検討）、山川さんの口頭研究発表（フェニルおよびアルキル化有機シリカからの無極性官能基分解除去によるマイクロ孔の形成条件）に対し、古崎新太郎東京大学名誉教授より、興味ぶかい研究であり今後が期待できるとの講評をいただきました。本選奨は、遠藤さんと山川さんのこれからの研究の発展と活躍を祈念し、今井正直日本大学教授より授与されたものです。



受賞した遠藤さん（左）と山川さん

[平成26年度 面接指導講習会を実施](#)

投稿日時: 2015-01-27 13:54:18 : [平成26年度の話題](#)

本校では、去る1月10日（土）に平成26年度「面接指導講習会」を実施した。講習会は、株式会社トレイン代表取締役 千葉彰子 氏を講師に迎え、次年度に就職活動を行う本科4年生全員を対象に、5学科を午前と午後の部に分けて実施された。講習会では、初めに今年度の大学・高専における就職内定率や就職動向等について説明を受けた後、「エントリーシートの書き方」「履歴書の書き方」といった課題に取り組み、面接のグループ練習、講師による模擬面接を行った。今回の講習では、自分の適性を知り、面接に取り組むことで、今後の就職活動に役立てることを目的としており、参加した学生も課題や模擬面接に真剣に取り組んでいる様子が窺えた。

なお、本講習会は今年度で16回目を数え、来年度以降も開催を予定している。



[専攻科1年生が「第5回 福島地区CEセミナー」において「ポスター発表優秀賞」を受賞しました。](#)

投稿日時: 2015-01-20 12:52:23 : [平成26年度の話題](#)

平成26年12月20日に日本大学工学部（郡山市）で開催された「第5回 福島地区CEセミナー（主催：福島化学工学懇話会、共催：日本大学工学部、協賛：化学工学会東北支部）」において、物質・環境システム工学専攻1年の五十嵐達也さんが「ポスター発表優秀賞」を受賞しました。

本セミナーには、福島大学、日本大学、福島高専、山形大学、茨城大学、小山高専からの参加者があり、大学院生・大学生・高専専攻科生・高専本科生による多くの学生発表が行われました。その中で五十嵐さんは、専攻科1年生から着手した特別研究の成果を「アミン中での強磁性体ナノ粒子の有機シリカコーティング」というタイトルで発表し、ポスター発表優秀賞の受賞となりました。



[0コメント](#)

[物質工学科5年生が「日本分析化学会関東支部・同茨城地区分析技術交流会主催・第11回茨城地区分析技術交流会優秀ポスター賞」を受賞しました。](#)

投稿日時: 2015-01-09 15:21:50 : [平成26年度の話題](#)

平成26年12月5日（金）にいばらき量子ビーム研究センター（茨城県）で開催された、第11回茨城地区分析技術交流会において、「優秀ポスター賞」を福島高専物質工学科5年の本田采加さんと中川葵さんの連名で受賞しました。本賞は、当日に行われた全学生発表の中で、優秀なポスター発表3件に対して贈られる賞です。

本田さんと中川さんは、物質工学科5年生の4月から着手した震災復興支援に関する研究である「エチルノナフルオロブチルエーテルを用いる三成分系均一液液抽出（HoLLE）によるセシウム分離・濃縮への応用」を、日本分析化学会関東支部・同茨城地区分析技術交流会主催の第11回茨城地区分析技術交流会で発表し、ポスター賞を受賞しました。今回の受賞は、茨城地区の分析技術を研究する大学生や大学院生の発表の中で受賞したものであり、本校物質工学科での日々の学習成果と研究に対する情熱がかたちとなって表れたものと思います。

[0コメント](#)

[公開講座「ビー玉スターリングエンジン制作教室」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-12-26 11:56:25 : [平成26年度の話題](#)

12月20日（土）に公開講座「ビー玉スターリングエンジン制作教室」を開催しました。まず一色教員よりスターリングエンジンの動作原理や制作手順についての説明が行われ、続いて小出教員と福岡職員の指導のもと、補助学生の介添えを得て、ボール盤などによる機械加工から制作作業を行いました。途中で昼食休憩を挟んで2時20分に作業が終了し、参加者29名全員のスターリングエンジンが完成しました。

熱源のローソクを取り付けて動作確認実験を行ったところ、数台動かないエンジンがありましたが、バランス調整修理により、最終的に全てのエンジンが作動しました。3時にほぼ成功裏に閉会しました。



[0コメント](#)

飲酒・喫煙等防止教室を開催

投稿日時: 2014-12-24 09:18:40 : [平成26年度の話題](#)

本校では、去る12月17日(水)、4年生を対象とした「飲酒・喫煙等防止教室」を開催した。今回の教室では、いわき市保健所の佐藤夕佳氏を講師に迎え、間もなく20歳を迎える4年生に対し、飲酒や喫煙のリスクに関する説明が、パワーポイントのスライドや資料を交えて詳しく行われた。また学生達には、これから年末年始となり、誘惑の機会が増す時期となることから、誘惑に負けないよう注意が促された。学生達は、これらの話を真剣な面持ちで聞き、これからの生活の参考としている様子であった。



[太平洋島嶼国政府関係者一行が本校を訪問](#)

投稿日時: 2014-12-16 15:14:11 : [平成26年度の話題](#)

2015年5月に福島県いわき市で開催される「第7回太平洋・島サミット」の一環として来日した太平洋島嶼国政府関係者一行が、5日本校を視察した。

訪れたのは、トンガ王国緊急事態管理庁長官らパプアニューギニア、ソロモン、フィジー、サモア等の防災関連行政に従事する政府関係者13名。

今回は、島嶼国で将来、指導的立場に立つことが予想される若手行政官を招いて、日本と島嶼国の共通課題である「防災への取組み」について、我が国の取組みを紹介するとともに、日本の行政官や民間団体等と意見交換することによって、知見を共有し、日本と島嶼国間の協力関係を強化することを目的に開催されたものです。

本校では、始めに中村校長が歓迎の挨拶と地域復興人材育成事業について説明を行った後、スマートグリッド実規模実験装置と津波実験装置の見学を行った。

引き続き行われた学生との交流会では、始めにコミュニケーション情報学科1年生による、東日本大震災時の様子についての英語劇とストリートダンスが披露された後、コミ科1年生と英語サークルメンバーが、訪問者の国毎にグループを作り、英語で島嶼国の様子について質問したり、訪問者の名前を漢字の当て字にして書いた「色紙」をプレゼントし、当て字に使った漢字の意味や理由を説明するなど、交流会は終始和やかな内に進み、会終了後もメールアドレスや写真データを交換するなど、予定時間を超過して親交を深めた。



(グループ毎の交流)



(集合写真)

[第7回 先端ものづくりチャレンジ2014 イン習志野ロボット競技部門で、分子生物学愛好会のチームが最優秀賞を受賞\(2連覇\)しました。](#)

投稿日時: 2014-12-15 10:26:07 : [平成26年度の話題](#)

12月14日(日)に千葉県習志野市モリシアホールにおいて、第7回 先端ものづくりチャレンジ2014 イン習志野(主催:習志野商工会議所、千葉工業大学、NPO法人国際ロボフェスタ協会)ロボット競技部門が開催されました。

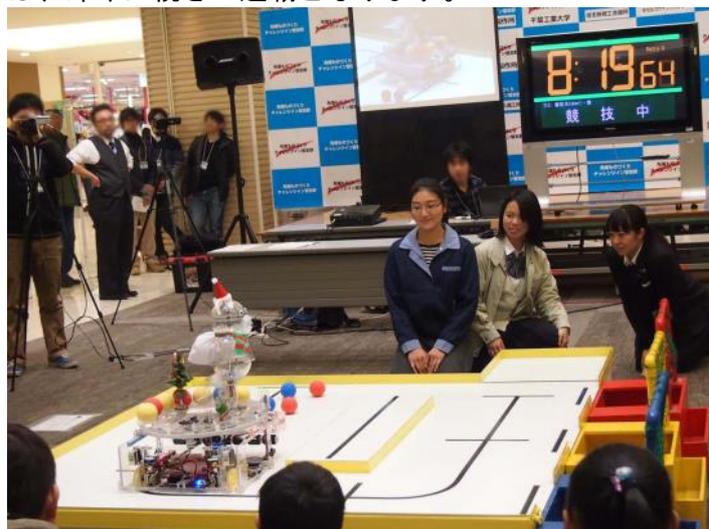
本校からはロボット名「菊花(Kicker)・改」代表:小林 翠(5年物質工学科)、製作グルー

プ：笹川 桃佳（2年物質工学科）、清水 和恵（2年物質工学科）、會川 結衣（1年物質工学科）、金成 留佳（1年物質工学科）の分子生物学愛好会の遠征チーム（指導教員：物質工学科 天野仁司）が出場しました。

<結果>

一般社会人、大学、高校、中学などの19チームが参加した予選を通過し、6チームによる本選に進出しました。

本選では、競技点48点（50点満点）を獲得し、安定した動作とボールを遠方からゴールに蹴り入れる大胆さが評価され、最優秀賞を受賞しました。分子生物学愛好会の最優秀賞受賞は、昨年に続き2連覇となります。



（本戦の様子）



（最優秀賞の記念撮影の様子）

[0コメント](#)

[全国高専ロボコン全国大会でベスト4に入りました](#)

投稿日時: 2014-11-28 09:24:36 : [平成26年度の話題](#)

11月23日(日)に東京の両国国技館において、高専ロボコン全国大会が開催され、東北地区を代表して本校から下記チームが参加しました。

ロボット名: おトドけ・うけトリ

選手: 3M鳥羽祐丘、2M武田亮完、2M強口藍子

前日のテストランまでは順調な動きを見せていたロボットでしたが、大会当日の朝になり想定外の電気系トラブルが発生し、1回戦開始15分前までチーム一丸となった作業の結果、無事トラブルを解決することができ、蒸籠を15枚運んで勝つことができました。

2回戦は15枚、準々決勝は16枚運んで勝つことができましたが、準決勝で

惜しくも敗退しました。

高専ロボコン出場に当たり、教職員、保護者、卒業生の皆様方のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

なお、全国大会の様子は12月29日(月)午後10時40分～午前0時NHK総合で放送予定です。本校学生の活躍を是非ご覧ください。



競技の様子



応援ありがとうございました

[0コメント](#)

[H26年度いわき地区高等学校写真連盟写真展で本校写真部が特選を受賞しました。](#)

投稿日時: 2014-11-04 11:56:25 : [平成26年度の話](#)

H26年度いわき地区高等学校写真連盟写真展が、10月14日～16日に開催され、福島高専写真部が、特選1、準特選2、入選10の計13の賞うち、特選1、準特選2、入選4の7つを受賞し最多受賞数の結果を得ることができました。

また、機械2年の海原さんは、1人4点の出品でしたが、すべての作品で賞を受賞しました。

特選 鏡幻の世界 海原(機械2年)

准特選 Last summer 海原(機械2年)

准特選 夕霞の白梅特急 今井(物質1年)

入選 銀雪の輝き 海原(機械2年)

入選 今を遺す 海原(機械2年)

入選 ミステリーサークル 下谷(建設3年)

入選 川面の風吹き 高木(建設1年)



[0コメント](#)

全国高専ロボコン東北地区大会で本校Aチームが優勝しました。

投稿日時: 2014-10-27 10:33:50 : [平成26年度の話題](#)

10月26日(日)に岩沼市総合体育館において、高専ロボコン東北地区大会が開催され、本校から下記2チームが参加しました。

「Aチーム」ロボット名: おトドけ・うけトリ

選手: 3M鳥羽祐丘、2M武田亮完、2M強口藍子

「Bチーム」ロボット名: 蒸籠丸(せいろまる)

選手: 3C星証充、2E高橋諒太、2M秋山高徳

Bチームは1回戦で鶴岡高専B「行け!! 麺ズ」と対戦し、ベストを尽くしましたが10対12で惜しくも敗退しました。

Aチームは1回戦 八戸B、2回戦 一関A、準決勝 秋田A、決勝 秋田Bと対戦し、それぞれ6枚、10枚、8枚、8枚の蒸籠を無事届けることができ、優勝するとともに全国大会出場権を得ることができました。

優勝したのはAチームですが、ロボット技術研究会の全学生の努力、指導教員の適切な指導の結果で、全国大会出場権を勝ち取ることができました。

本大会への参加にあたり、ご支援頂いた皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、11月23日(日)の全国大会で優勝できるよう、短い時間ではありますが、さらなる改良、練習を積み重ねて行きますので、引き続き、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、大会の詳細については、11月16日(日)AM11:00~11:54(NHK総合)

にて放送予定ですので、是非ご覧ください。



優勝したAチーム



奮闘するBチーム

[0コメント](#)

[文部科学省公募事業平成26年度国家課題対応型研究開発推進事業\(廃止措置基盤研究・人材育成プログラム委託費\)に採択されました。](#)

投稿日時: 2014-10-02 11:10:22 : [平成26年度の話題](#)

このたび、東京電力株式会社福島第一原子力発電所1～4号機の廃止措置等に向けた中長期的視点での基盤研究や人材育成を目的とした標記事業の選考が行われ、本校が応募した「廃炉に関する基盤研究を通じた人材育成プログラムー福島からの学際的なチャレンジャー」（事業代表者：佐藤正知特命教授）が採択されました。

今回の提案は、平成23年度から専門家を集めて実施している「復興人材育成に係る教育プログラム」に加えて、新たに廃炉に関わる講義を、TV会議システムを使って県内外の教育機関に遠隔配信することや実習及びインターンシップを取り入れるとともに、地域住民の安全安心に向けて重要とされる原発建屋の劣化評価や廃炉に関する地域コミュニケーション等の廃止措置に向けた基盤研究を通じた人材育成を行うものです。これらの提案を具体化するため、本年度はフィージビリティスタディー(FS)として採択されたことから、国立高専機構本部や各高専の協力を得て廃炉に関心のある教員等を広く結集し、これに大学、国研、地域などからの協力を含め、本校が中心的な役割を担う体制を整備するとともに、シンポジウム等を通して廃炉に関する情報共有を行い、次年度以降の本格実施に向けて次のような準備を進めて参ります。

【本年度の事業内容】

1. 本校が中心的役割を担う体制整備
 - (1) 「プロジェクト運営会議」の設置（プロジェクト参加機関関係者等で構成）
 - (2) 「廃止措置人材育成高専等連携協議会」の設置（高専校長、機構本部関係者等で構成）
 - (3) 「廃止措置シンポジウム」の開催
（プロジェクト参加機関、県・市・地元企業関係者を対象）
2. 基盤研究を通じた人材育成の準備
 - (1) 建屋劣化診断
 - (2) 格納容器の劣化診断
 - (3) 住民説明及び理解に関する実証的研究 ー除染土壌の運搬方法を事例にー
 - (4) その他の基盤研究課題

(参考)

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1351036.htm(文部科学省ホームページ)

[0コメント](#)

[平成26年度「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」を実施](#)

投稿日時: 2014-10-01 17:03:38 : [平成26年度の話題](#)

福島高専の「学校開放事業」と、アカデミア・コンソーシアムふくしま(ACF)の「文科省大学間連携共同教育推進事業」としての共同主催で、福島県、福島県教育委員会等の後援のもと、平成26年度「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」を実施した。例年通りの3回シリーズの「講座とコンテスト」で、第1回「学んで」8月16日(土)、第2

回「作って」8月30日（土）、第3回「コンテスト」9月13日（土）に、県内10中学校から27名が参加した。

今年度は、昨年度までの作品性能評価式を一部変更し、模型の機能を表す路線有効断面積の、強度に対する重みを増し、機能をより重視する規則とした。

この結果、従前のコンテストに比べ強度の値は低目となったが、より高い強度とより広い路線有効断面積を兼ね備えた作品を目指し、各自工夫をこらした高性能な作品が数多く制作された。

参加者は、むずかしい課題に悪戦苦闘しながらも皆熱心に取り組み、「楽しく勉強できた。」との感想が多く寄せられた。

[競技結果](#)は、こちらをご覧ください。



講座での製作の様子



強度コンテスト



参加中学生の皆さん

[0コメント](#)

[公開講座「エジソン電球を作って実験しよう ☆最新LEDを使ったランプ作りもあるよ☆」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-09-30 12:52:43 : [平成26年度の話](#)

9月27日（土）に、モノづくり教育研究支援センター公開講座「エジソン電球を作って実験しよう ☆最新LEDを使ったランプ作りもあるよ☆」を開催しました。受講対象を小学校5年生から中学校3年生までとし、電気を利用する照明器具として初めて実用化された「エジソン電球」を作製し、点灯実験を行いました。また、エジソン電球と比較するため、世界最先端の高輝度LEDを用いて、LEDランプを組立てました。

参加された方々は、フィラメントの作製や点灯実験などを成功するまで繰り返す等、熱心に取り組んでいました。照明器具に関する技術が、この100年間で大きく進歩したことを実感した様子が見られました。



[0コメント](#)

[発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！（2回目）」を開催しました](#)

投稿日時：2014-09-26 14:31:30：[平成26年度の話](#)

第3回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を9月21（日）に開催しました。（主催：福島高専・いわき市、協力団体：サイエンス工房、指導：物質工学科教員 天野仁司）

この講座は6月にも開催し大変好評を得たもので、今年度2回目の開催となりました。

電源のないラジオ（ゲルマニウムラジオ）から聞こえてくる音声に、参加者は大変感動している様子でした。





[0コメント](#)

[第2回発明発見教室「手作りカメラで撮影」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-09-11 17:21:02 : [平成26年度の話](#)

8月24日(日)に、第2回発明発見教室「手作りカメラで撮影」を開催しました。

(主催: 福島高専・いわき市、協力団体: サイエンス工房、指導: 物質工学科教員 天野仁司)

この教室は、いわき市の小中学生を対象とした科学・工作教室で、写真の原理を学び、実際にピンホールカメラを製作して、写真を撮影するものです。

構造が簡単なカメラで写真をとるには調整が大切で、受講者は、撮った写真を見て、もっと綺麗な写真を撮るにはどうすればよいか、いろいろと工夫するなどして、レンズのないピンホールカメラとは思えないような作品をたくさん生み出していました。



[0コメント](#)

[学校開放事業「第9回中学生プログラミングコンテスト」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-09-11 17:17:18 : [平成26年度の話](#)

8月31日(日)に、本校主催学校開放事業「第9回中学生プログラミングコンテスト」を開催しました。コンテストには10チーム28名の中学生が参加し、初級・中級・上級あわせて20問のプログラミング問題に挑戦しました。

優勝は磐崎中学校(中原君、高野君、生田目君)チーム、第2位は平三中学校(小野君、清野さん、新妻君)チームで、第3位も平三中(大和田さん、嵐君、青木君)チームでした。

ここ数年は平地区の中学生が多く参加してくれていますが、小名浜からの参加者が少なくなっています。今後は小名浜地区への宣伝も強化していきたいと考えています。



[0コメント](#)

平成26年度「第5回中学生英語スピーチコンテスト」を開催しました

投稿日時: 2014-09-11 17:14:26 : [平成26年度の話題](#)

去る7月26日(土)に、本校開放事業「第5回中学生英語スピーチコンテスト」を開催しました。今年
は市内外の10中学校から12名が参加しました。題は自由で、5分以内のスピーチで競い合いました。
スピーチの内容はかなりレベルが高く、原稿作成の段階で相当の努力がなされたものと推測されま
す。また、それを多くの人前で説得力を持って発表できるようにするために、かなり練習を積んでき
ているようでした。

出来栄は、発音の正確さ・明瞭性などに個人的に多少差はあったものの、どの参加者も一つの事
をやり遂げたという達成感を強く感じているようでした。





[0コメント](#)

[全国高等学校総合体育大会\(インターハイ\)出場が決定しました！](#)

投稿日時: 2014-07-16 11:43:51 : [平成26年度の話題](#)

第60回福島県高等学校体育大会陸上競技及び卓球において本校陸上部、卓球部がインターハイ出場権を獲得しました。

陸上部

男子200m・400m 古和口 廉(建設環境工学科3年)

卓球部

女子ダブルス 大浦 悠(建設環境工学科3年)

佐藤 泉(コミュニケーション情報学科2年)

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が、平成26年7月26日から8月20日まで南関東四都県(山梨県、千葉県、東京都、神奈川県)で開催されます。

山梨県では、平成26年7月30日から8月10日までの12日間にわたって、陸上競技、卓球、サッカー(男子)、ボート、自転車競技、ホッケー、ウエイトリフティング、カヌーの8競技が開催されます。

[0コメント](#)

[第96回全国高等学校野球選手権福島大会で本校野球部主将が選手宣誓を務めました。](#)

投稿日時: 2014-07-14 08:53:29 : [平成26年度の話題](#)

7月10日(木)に行われた第96回全国高等学校野球選手権福島大会で、本校野球部主将の齋藤大輝(3E)が、参加する81チームを代表し、選手宣誓を務めました。

宣誓では、仲間や家族への感謝の気持ちを忘れず、大好きな野球を楽しみ、英姿颯爽のプレーで、これまでにない熱い夏にすることを誓います。と誓いを述べました。

大会での本校の活躍が期待されます。



選手宣誓をする齋藤主将



入場行進

[0コメント](#)

[清水いわき市長が表敬](#)

投稿日時: 2014-07-11 17:29:07 : [平成26年度の話題](#)

7月2日（水）、清水いわき市長が、福島高専中村校長を表敬訪問した。初めに中村校長から同校の概要説明を受けた後、いわき市との震災復興を中心とした連携協力等について懇談が行われ、今後、両機関の連携をさらに強化していくこととなった。その後、文部科学省大学改革推進等補助金「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」による『スマートグリッド実規模実験装置』を中心に校内を勢力的に視察した。中でも、学生のロボコン制作現場では、学生に興味を持って熱心に話しかけ、優勝に向け、激励していた。



実習工場を視察するいわき市長(手前)



ロボコン制作現場を視察するいわき市長(左から3番目)

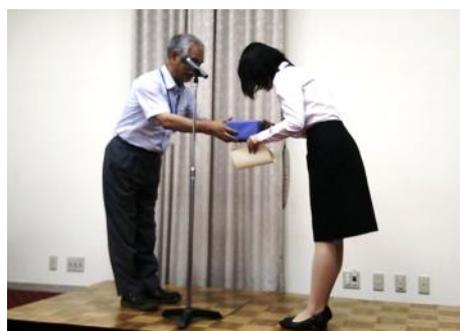
[0コメント](#)

専攻科2年の桑野夏希さんが「日本応用糖質科学会東北支部会、Most Impressive Presentation賞」を受賞しました。

投稿日時: 2014-07-11 13:37:23 : [平成26年度の話](#)

平成26年7月4日に福島テルサ（福島）で開催された、日本応用糖質科学会第6回東北支部会若手発表会において、「Most Impressive Presentation賞（MIP賞）」を物質・環境システム工学専攻2年の桑野夏希さんが受賞しました。本賞は、当日発表が行われた全演題の中で、最も印象に残った発表に対して贈られる賞です。

桑野さんは、専攻科1年生から着手した特別研究である「糖鎖固定化デキストリンナノ粒子の合成とレクチンとの相互作用解析」を日本応用糖質科学会第6回東北支部会若手発表会で発表しMIP賞の受賞となりました。今回のMIP賞は、東北地区の若手研究者や大学院生の発表の中で受賞したものであり、日々の研究に対する情熱がかたちとなって表れたものと思います。



（受賞した桑野さん（2CK）と受賞式の様子）

[0コメント](#)

公開講座「衝突しないモーターカーを作ろう！」を開催しました

投稿日時: 2014-07-09 10:56:36 : [平成26年度の話](#)

6月21日（土）に、モノづくり教育研究支援センター公開講座「衝突しないモーターカーを作ろう！」を開催しました。

本講座は、小学5年生から中学3年生を対象とした、今話題の“ぶつからない車”のミニミニ版を自分の手で作ってみよう、という趣旨のモノづくり体験講座です。モーターカーは、障害物の前で自動で止まり、障害物が近づいてきた場合にはバックして一定の距離を保つように走行します。

講座内容は、身近に起こっている電気現象に関する授業に加え、モーターカーが衝突しない仕組みについて講義を行いました。また、ブレッドボード（ハンダ付けなしで電子回路を構成できるもの）を用いた簡単な回路作製実験を実施し、その後、モーターカーを製作しました。参加された方々は、とても興味を持った様子で、講義や製作作業に熱心に取り組まれました。

前年度に開催した際には多くの方に応募して頂き、今年度は募集定員を増やして2回目を開催することができました。今後も新しいモノづくり講座を企画・開催していきますので、是非ご参加の方お待ちしております。



衝突しないモーターカー

講義の様子



実際に衝突しないか確かめている様子

記念撮影

[0コメント](#)

[6月13日\(土\)に物質工学科主催の公開講座「鑑識の化学にチャレンジ!!」を開催しました。](#)

投稿日時: 2014-06-20 16:44:46 : [平成26年度の話](#)

今回の公開講座は、犯罪捜査における「鑑識」という側面から、いろんなところにあふれている化学の一端を紹介し、体験してもらうことで、「化学技術」の面白さを感じてもらう事を目的としました。

当日は中学生26名に受講いただき、紙コップやアルミホイルなどから指紋を検出する「指紋の検出」、血痕の検出に使われる「ルミノール反応」、電子顕微鏡を用いての観察や繊維識別試薬による「繊維の鑑別」の3つの実験を実施しました。



指紋を採取している様子



繊維の種類について説明する教員

電子顕微鏡を用いて繊維の表面の様子を説明する学生補助員

[0コメント](#)

[分子生物学愛好会の知能ロボット研究グループが第26回知能ロボットコンテスト2014に参加し、チャレンジコースで優勝しました。](#)

投稿日時: 2014-06-17 16:56:04 : [平成26年度の話](#)

6月14・15日に、仙台市科学館で行われた第26回知能ロボットコンテスト2014に分子生物学愛好会（指導教員：物質工学科 天野仁司）の知能ロボット研究グループの2チーム（チーム1「堀越くまさん(N)」、ロボット名「菊花(Kicker)」、代表者：物質工学科5年 小林翠、チーム2「堀越くまさん nona」、ロボット名「chibiR」、代表者：物質工学科4年 菅原佳奈・岩崎莉歩、共通製作グループ：物質工学科3年 齊藤玲子、物質工学科2年 笹川桃佳、清水和恵、物質工学科1年 會川結衣、金成留佳）が参加しました。

菊花(Kicker)は、チャレンジコースに出場し、惜しくも2次予選でパーフェクトを逃したものの、1次予選と決勝で5分以内にパーフェクトを達成し、決勝の審査点でも1位となり優勝しました。また、最優秀技術賞も受賞しました。

chibiRは、テクニカルコースに出場し、決勝進出3位となり、メカトロで遊ぶ会賞を受賞しました。



優勝の表彰を終えて



パーフェクトを達成した菊花(Kicker)の決勝



パーフェクトを達成した菊花(Kicker)の1次予選



chibiRの決勝

[0コメント](#)

[AED講習会を開催しました。](#)

投稿日時: 2014-06-17 16:00:55 : [平成26年度の話](#)

本校では、6月16日(月)に、いわき市消防本部平消防署員の指導のもと、心肺蘇生法及びAED(自動体外式徐細動器)の使用方法を習得する講習会を開催しました。この講習会は毎年、東北地区高専体育大会に併せて開催しており、今年も25名の各部活動代表の学生が参加しました。講習会では、人工呼吸・心臓マッサージ等の心肺蘇生法及び、AEDを用いた心肺蘇生法について、ダミー人形を使用した実技指導を受けました。救命措置に対する正しい知識・処置方法を身につけ、学校内外を問わず、緊急時に迅速

かつ適切な措置をとるための有意義な講習となりました。



貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=22>>

平成26年度 福島高専協力会定期総会を開催

投稿日時： 2014-06-10 13:49:06 : [平成26年度の話](#)

6月5日(木)、いわき商工会議所が、平成26年度福島高専協力会定期総会を開催しました。本協力会は、福島県浜通り地域、茨城県北茨城市の企業や商工団体で構成されており、会員と福島高専教職員併せて73名が出席しました。

総会では、会長の正木好男いわき商工会議所副会頭、中村隆行福島高専校長の挨拶の後、平成25年度の事業報告・収支決算、平成26年度の教育研究の振興、連携・協力、技術開発及び技術支援などを内容とする事業計画等を決定しました。

その後、福島高専の事例紹介として、柴田公彦准教授(物質工学科)より「トマトの高品質化に関するあかい菜園(株)との取り組み～企業・学生・高専それぞれのメリット～」、芥川一則教授(コミュニケーション情報学科)より「市場としての震災復興～地元企業、協力会に期待すること～」について発表がありました。引き続き行われた交流会では、新任教職員の紹介が行われるなど、会員との交流が図られました。



協力会定期総会での中村校長のあいさつの様子



芥川教授の事例紹介

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=22&start=30>>